

のり養殖通報第4報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成 29 年 10 月 11 日発行

健全種網確保に向けて水質観測結果を中心に構成しました。

[気象・海況] 栄養塩は概ね回復

- 気温は10月4～6日には平年以下に低下したが、7日以降は平年を大きく上回る高気温が続いている。降水量は10月5～6日にかけて62mmのまとまった降雨を記録した（新富津漁協気象盤）。
- 10月10日の観測では、内湾では盤洲沖を中心に小型の珪藻（優占種シュードニッチア）が増加し透明度が低下している。その影響で表層の栄養塩は盤洲沖で窒素が少ない場所があったが、その他の調査点では、健全種網育成に十分な値に回復した。表層水温は内湾は概ね23℃台、内房は22℃前後。塩分は27～29で特に問題の無い値であった（表1）。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では水温は気温の低下に伴い10月6日には22℃前後に低下したが、現在は23℃前後で推移している（図2）。

[今後の留意点] 健全種網確保を第一に

- 現在育苗中の網については極端な形態の悪化や健全度の低下は見られていませんが、12日にかけて晴天で気温の高い日が続く見込みで、水温停滞や植物プランクトンの増加など海況悪化が懸念されます。
- 13日以降は曇雨天で気温の低い日が続く見込みで海況の好転が期待できます。ここ数日が育苗序盤の山場となります。各地区で実施するノリ芽健全度調査の結果を参考に、健全種網確保を第一に育苗管理を心がけて下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は10月18日頃発行します。

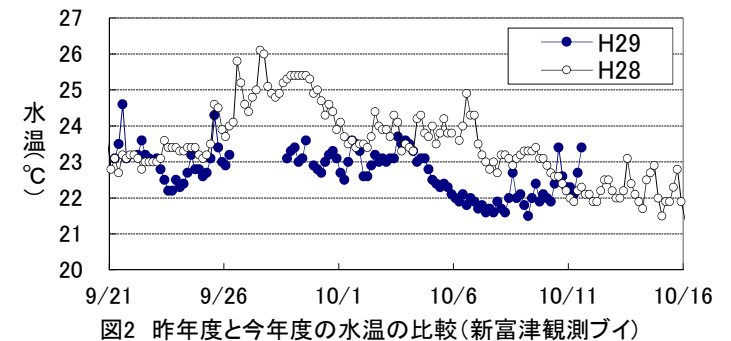
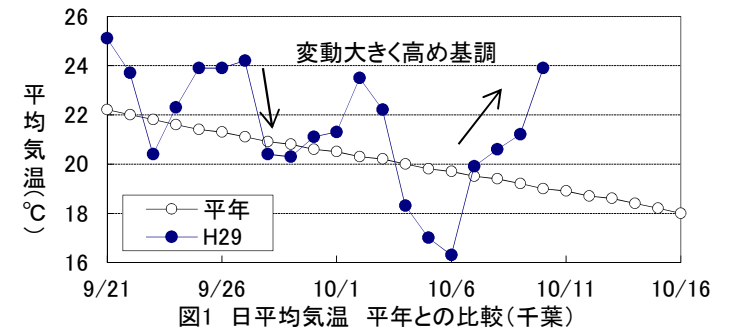


表1 水質観測結果(10/10)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	23.2	27.2	8.3	2.5	314	52
盤洲 C ブイ	23.7	28.1	8.7	1.6	39	8
盤洲 A ブイ	23.6	26.9	8.6	2.0	300	36
富津ベタ	21.9	27.8	8.3	5.5	318	41
2 海ほ下	22.0	29.3	8.3	6.0	172	26
大貫沖	21.9	29.2	8.3	7.0	216	29

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5